

## 資料 3

Whiskey & Co. 株式会社取締役  
佐藤大吾氏提出資料

# ウイスキー蒸溜所が発行するトークンの活用事例

2025年4月22日



## Distillery Water Dragon (静岡県三島市)運営: Whiskey&amp;Co.株式会社

1. 「日本製バーボンスタイル(※)ウイスキー」づくり
2. 少量生産のため、三島市内限定販売(観光促進)
3. **トークン保有者(=電子市民)のみネット購入可能(関係人口)**

※米国「バーボン」の定義: アメリカで製造トウモロコシ51%以上 / 新樽貯蔵2年以上など

## 蒸留所発行トークン

主な保有特典は「ウイスキーのネット購入権」(ウイスキー代は別途必要)

※トークンはアプリ内でいつでも売買可能(価格は変動)←安心感

資金調達をしながら、顧客を開拓。

顧客を開拓しながら、地域関係人口を拡大。

投資家ではなく、ウイスキー愛好家にアプローチ。少々の値動きでは売却しない安定株主であり、ウイスキーの見込み客でもある。

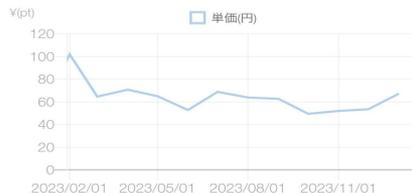
ウイスキーの世界的評価が高まると品薄に。確実にウイスキーを購入するためにトークン購入が進み、トークン価格は向上。「**経年優化**」という特性を持つウイスキーとトークンとの相性は最適。

トークン購入を通じて、地域ビジネスへの参画を促すことで関係人口も拡大(**株主人**口)。

## トークンの値動き

¥ 67.1983 /トークン

+46.04 %



Whiskey&Co.トークン

¥ 25.3517 /トークン

-61.96 %



一般的なトークン



## トークン販売実績(2025年4月時点)

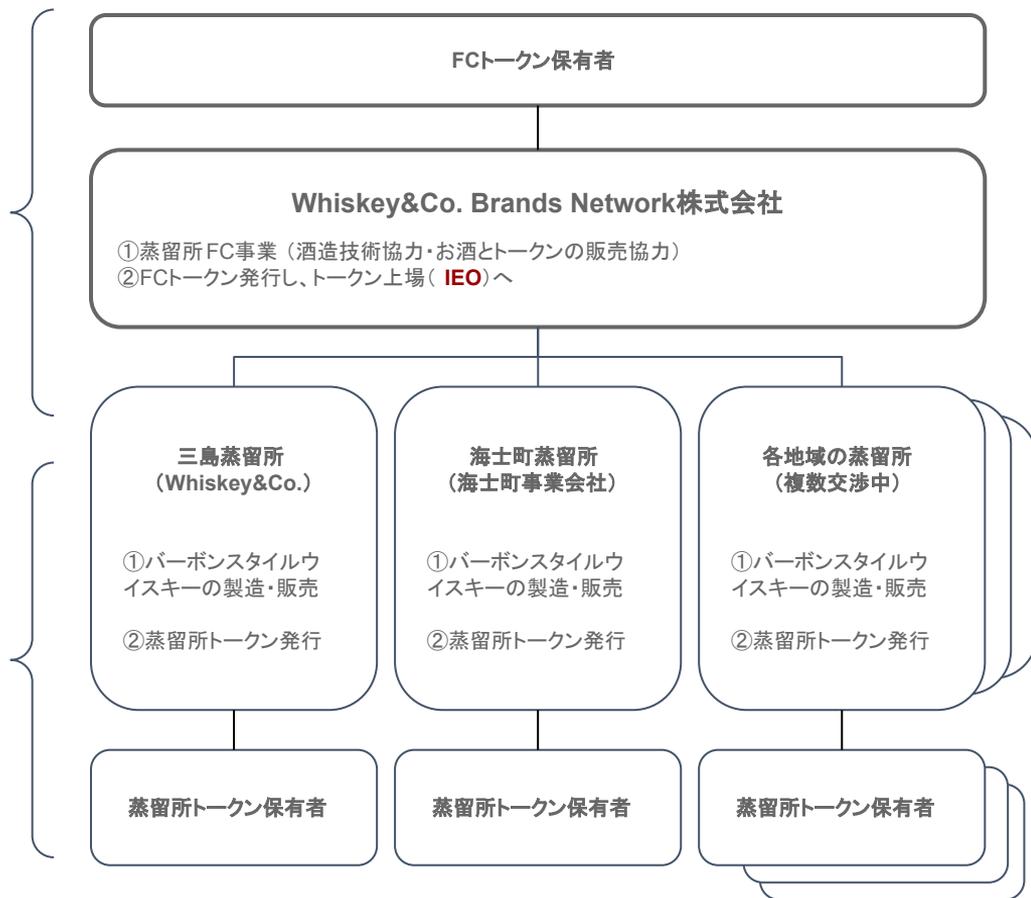
- 販売期間: 2022年10月～
- 総販売数: 2,726,681個
- 保有者数: 2,473人
- 販売金額: 60,837,000円

## 活用事例② フランチャイズ(FC)トークン

- 特典:トークン保有者は各蒸溜所のトークンをおトクに購入可能。
- 意義:日本製バーボンスタイルウイスキーというカテゴリーをまるごと応援。
- 特徴:FC加盟蒸溜所のどれかが評価されるとトークン価格が向上。

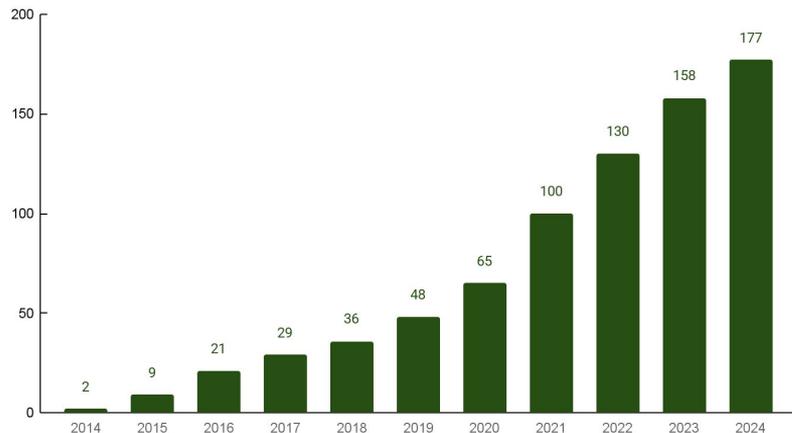
## 活用事例① 蒸溜所トークン(前ページ参照)

- 特典:トークン保有者は各蒸溜所のウイスキーをネット購入可能。
- 意義:各蒸溜所を個別に応援。地域創生。
- 特徴:ウイスキーを確実に購入するためにトークンを購入。

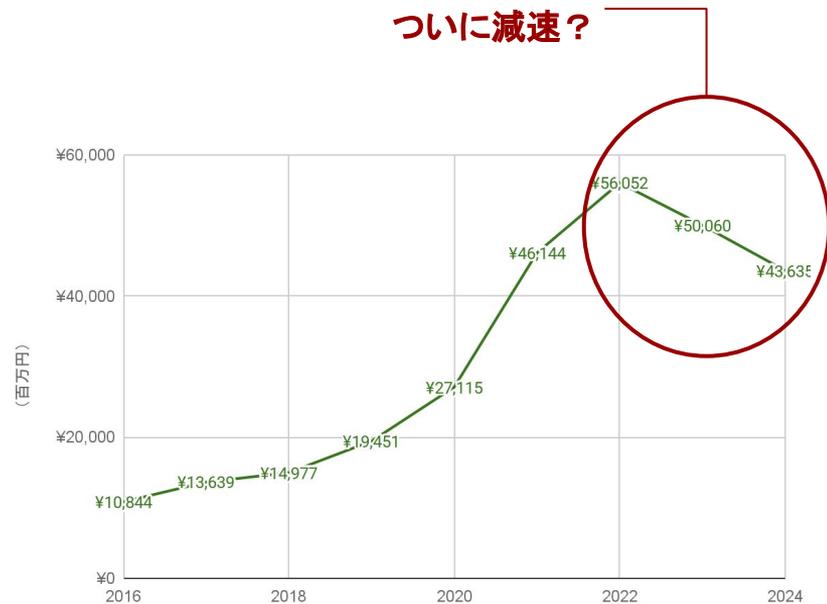


## 日本製ウイスキー事業者数と輸出金額の推移

ここ10年間で、日本製ウイスキー市場は急拡大。  
次の10年間で、日本製 **バーボンスタイルウイスキー** を世界へ。



ウイスキー製造免許新規取得事業者数(累積)(国税庁)



ウイスキー輸出金額(国税庁)

## 5 ウイスキーづくりとトークン活用(まとめ)

### 蒸留所トークン

- デットファイナンスで蒸留所建設、トークンファイナンスで蒸留所運営。
- 主な蒸留所トークン特典は「ウイスキーのネット購入権」。
- 投資家ではなく、ウイスキー愛好家にアプローチ。少々の値動きでは売却しない安定株主であり、ウイスキーの見込み客にもなる。
- トークン活用ビジネスでは「トークン長期保有のための施策」が重要。
- ウイスキーの世界的評価が高まると品薄になる。確実にウイスキーを購入するためにトークン購入が進み、トークン価格は向上。「経年優化」という特性を持つウイスキーとトークンとの相性は最適。
- トークン購入を通じて、地域ビジネスへの参画を促すことで関係人口も拡大**株主人口**）。

### FCトークン

- 日本製バーボンスタイルウイスキーを造る蒸留所を様々な地域で建設し、連携。
- 蒸留所トークンとは別に「FCトークン」を発行。
- FCトークンの主な特典は各蒸溜所発行トークンをお得に購入できること。
- その他、自社商品の購入だけでなく、近隣の宿泊施設やレストランでも使えるようにすることで、相互送客が可能。地方創生の起点に。
- サントリーは100年かけて「**日本製スコッチスタイルウイスキー**」のブランドを構築。
- 日本がトリガーとなり、スコッチウイスキーが欧米から世界へ。今では台湾、インド、東南アジア、イスラエルなど世界へ拡大。特に中国は大規模投資を行い、国産ウイスキー製造に着手。どんどん内需が進む。
- ここ2年間のデータでは日本のウイスキー輸出はついに落ち始めたように見えるが、次の100年に向けて、かつてのサントリーのように**日本製バーボンスタイルウイスキーを世界へ**という新たなチャレンジに取り組む各蒸溜所を日本政府も応援していただきたい。
- ウイスキー熟成期間中は商品がなく、売上が立たない。この間のファイナンスとしてトークン発行は有効。

### ご提案

- FiNANCiEをはじめ、トークン発行のシステムと法整備はデジタル公共財。安価に幅広く普及させることで、スタートアップの資金調達手段にもなり、地域への関係人口・株主人口の拡大につながる。